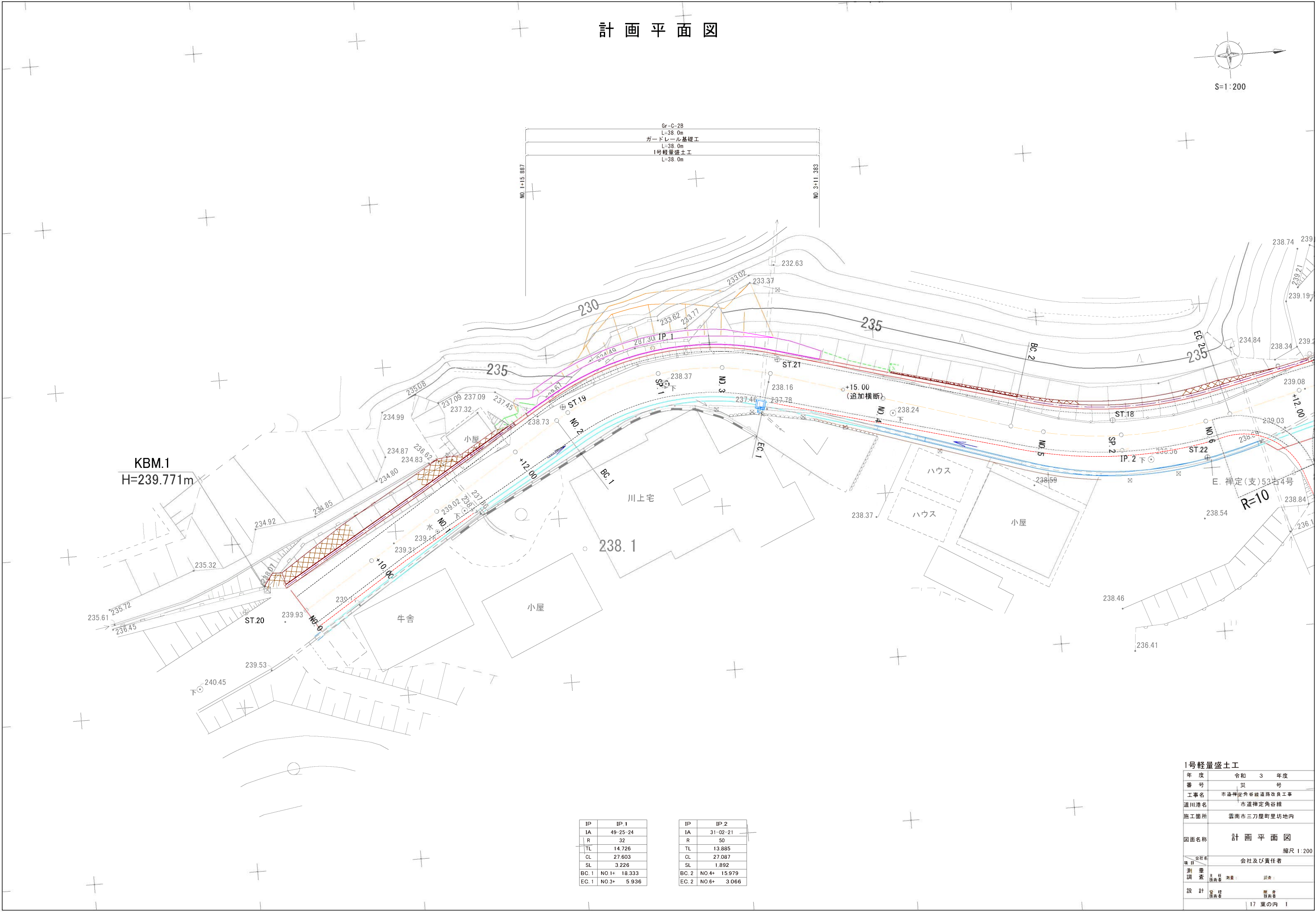
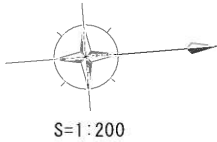


計画平面図



IP	IP 1
IA	49-25-24
R	32
TL	14.726
CL	27.603
SL	3.226
BC. 1	NO 1+ 18.333
EC. 1	NO 3+ 5.936

IP	IP 2
IA	31-02-21
R	50
TL	13.885
CL	27.087
SL	1.892
BC. 2	NO 4+ 15.979
EC. 2	NO 6+ 3.066

1号軽量盛土工	
年度	令和 3 年度
番号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
道川港名	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
計画平面図	
縮尺 1:200	
会社名	会社及び責任者
調査	主任 測量 調査
設計	設計 監査
17 葉の内 1	

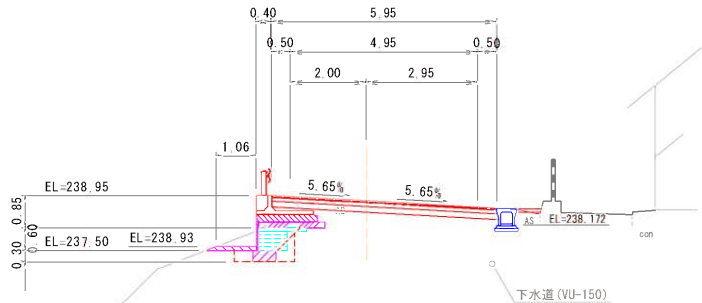
N0. 1+17. 15 (ペーロケ)

FH=238. 804

E P S 寸法表

積段数	控長さ	厚み
上部床版	1750	t= 150
10段目	1250	t= 100
9段目	750	t= 500

張コンクリート	コンクリート	0. 12 m2
	型 枠	0. 10 m



DL=235. 000

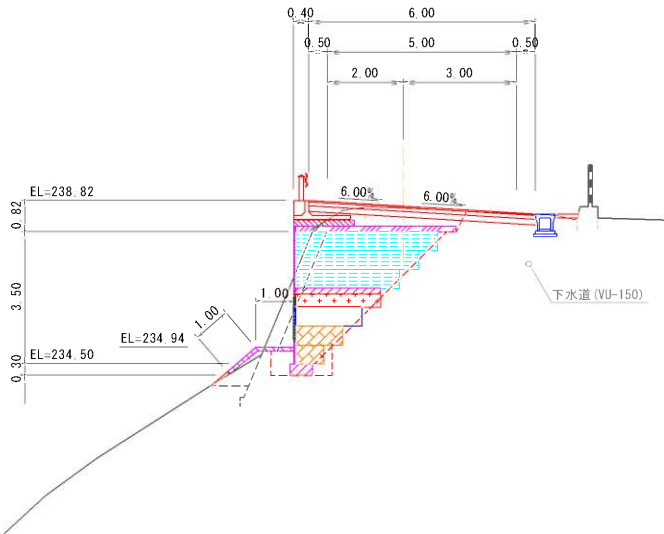
N0. 2+4. 0 (ペーロケ)

FH=238. 674

E P S 寸法表

積段数	控長さ	厚み
上部床版	4250	t= 150
9段目	3750	t= 500
8段目	3250	t= 500
7段目	2750	t= 500
中間床版	2250	t= 150
6段目	2250	t= 350
5段目	1750	t= 500
4段目	1250	t= 500
3段目	750	t= 500

張コンクリート	コンクリート	0. 20 m2
	型 枠	1. 00 m



DL=235. 000

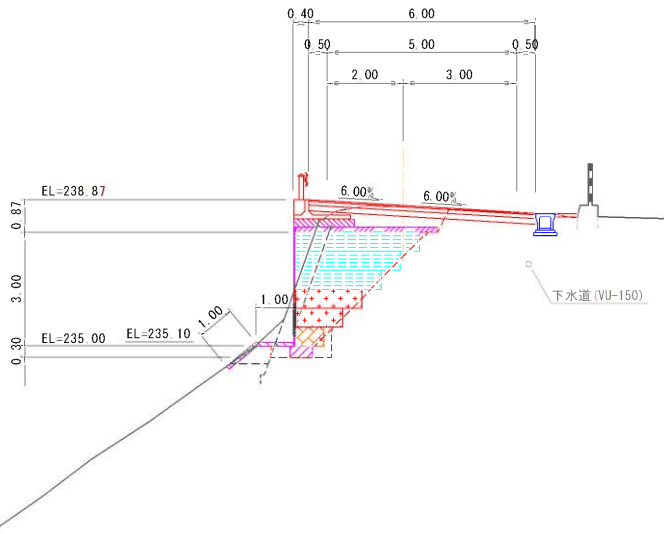
N0. 2+2. 0 (ペーロケ)

FH=238. 712

E P S 寸法表

積段数	控長さ	厚み
上部床版	3750	t= 150
9段目	3250	t= 500
8段目	2750	t= 500
7段目	2250	t= 500
6段目	1750	t= 500
5段目	1250	t= 500
4段目	750	t= 500

張コンクリート	コンクリート	0. 20 m2
	型 枠	1. 00 m



DL=235. 000

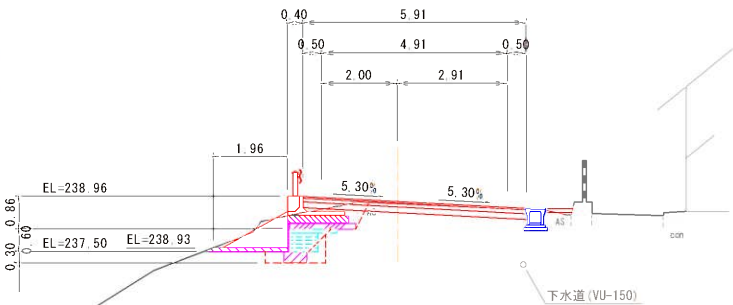
N0. 1+16. 0 (ペーロケ)

FH=238. 826

E P S 寸法表

積段数	控長さ	厚み
上部床版	1750	t= 150
10段目	1250	t= 100
9段目	750	t= 500

張コンクリート	コンクリート	0. 20 m2
	型 枠	0. 10 m



DL=235. 000

1号軽量盛土工

年 度	令和 3 年度
番 号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
道川港名	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	横断面図 (追加断面ペーロケ)
縮尺	1:100
項目	会社及び責任者
調査	主 任 測量 技術者 調査 技術者
設計	監 理 設計 技術者
17 葉の内	4

標準断面図

S=1:50

設計条件

設計水平震度			$k_{he} = 0.85 \times 0.15 \times 1.0$ $= 0.13$ (レベル1地震動)	
前面壁	壁面材		簡易壁面材方式 (NSW2)	
盛土材	路床部	規格	DX-29	左記同等以上品 但し、 消防法 第2章9条の3：指定可燃物 第3章：危険物 適応除外品とする。
		単位体積重量	$29 \pm 0.02$ (kN/m) <sup>3</sup>	
		許容圧縮応力	140 (kN/m) <sup>2</sup>	
	一般部	規格	D-20	発泡スチロール土木工法開発 機構認定ブロック同等品以上 とする。
		単位体積重量	$20 \pm 0.03$ (kN/m) <sup>3</sup>	
		許容圧縮応力	50 (kN/m) <sup>2</sup>	
		規格	DX-24	
		単位体積重量	$24 \pm 0.02$ (kN/m) <sup>3</sup>	
		許容圧縮応力	60 (kN/m) <sup>2</sup>	
	摩擦係数	型内発泡法相互	$\mu = 0.60$	開発機構認定ブロックの摩擦係数は 「EPS工法設計・施工基準書(案)」より 左記の数値となる。
		押出发泡法相互	$\mu = 0.80$	
		型内と押出相互	$\mu = 0.80$	
	緊結金具 (SGLC-AZ150)	片爪型	発泡スチロール土木工法開発 機構認定金具同等品以上とする。	
		両爪型		

新技術一覧

技術名称	NE T I S番号
ニューライトウォール工法	TH-120008-A
X P S工法	KT-030016-A
G ベース	HR-050011-V

最上部のEPSは、積層@100mmピッチの階段施工とする。

- D-20

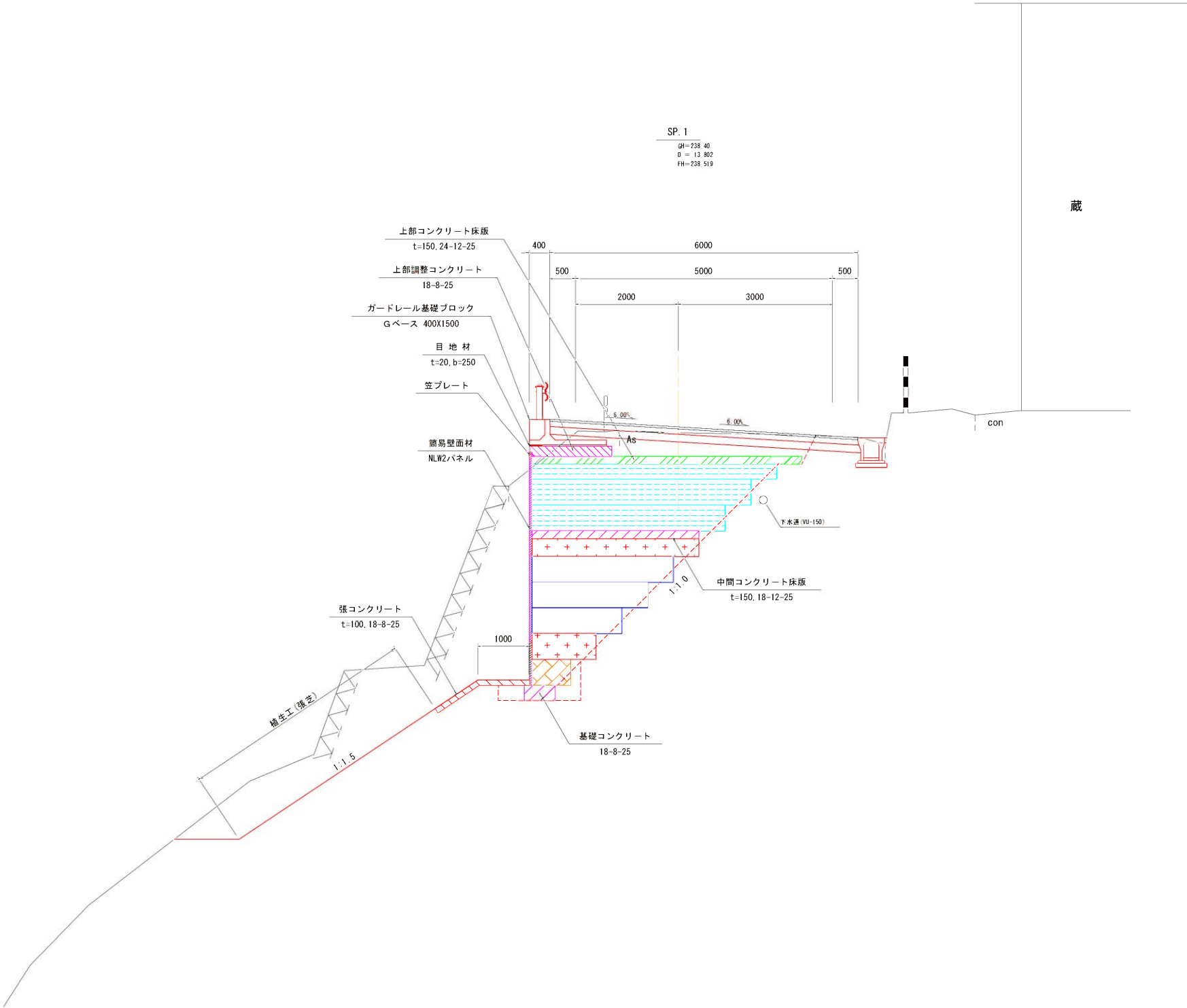
(EPS控長 1500mm 以上に使用)
- DX-24

(標準で、t=350mm部に使用)  
(EPS控長 1250mm に使用)
- DX-24H

(EPS控長 750mm～1000mm に使用)
- DX-29

(上部床版面下より最低 1100mm に使用)

DL=230.000



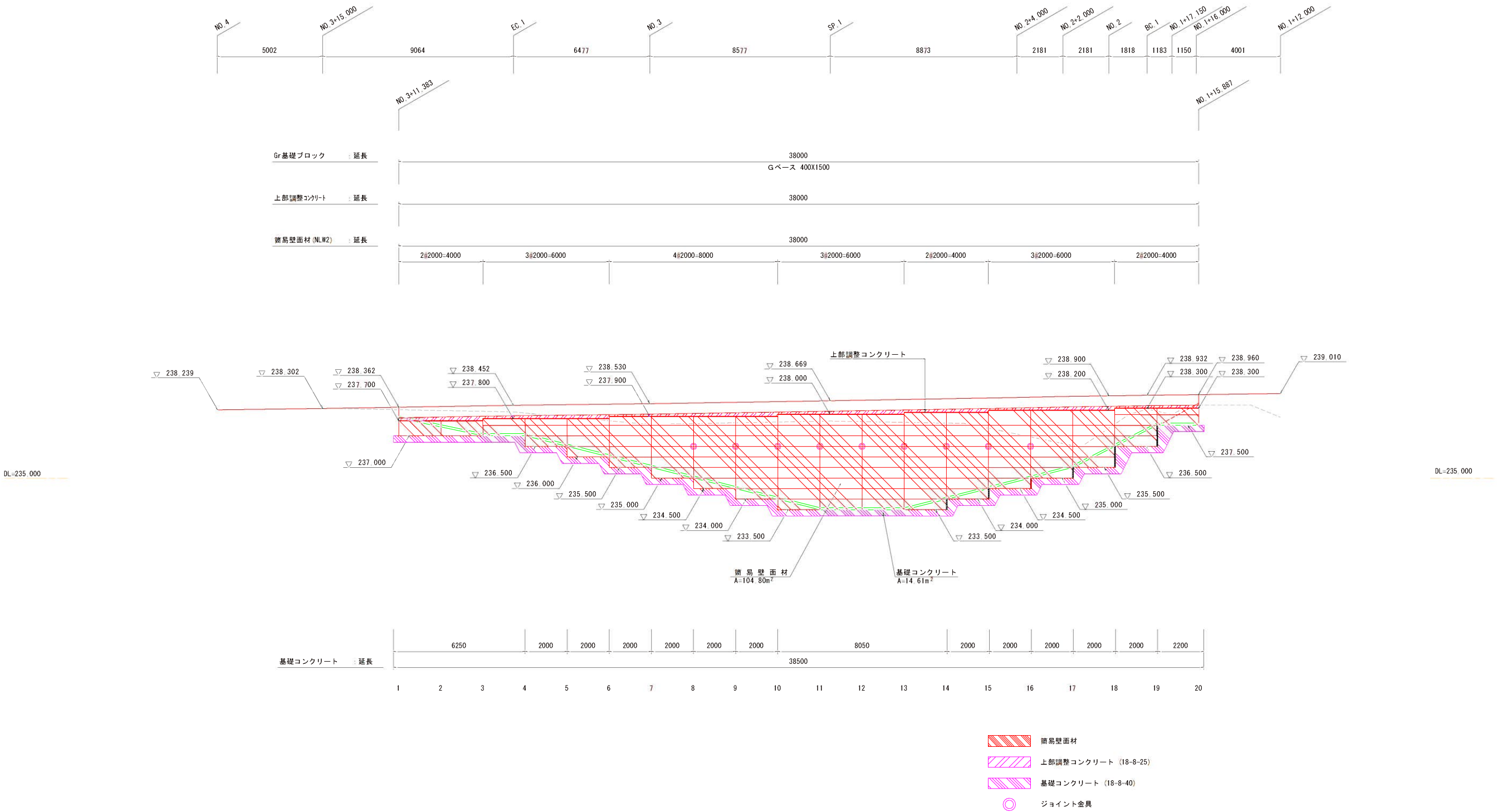
特記事項  
・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

1号軽量盛土工

年度	令和 3 年度
番号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
通川港名	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町重坊地内
図面名称	標準断面図
縮尺	図示
設計者	会社及び責任者
測量調査	主任 測量 調査
設計	主任 設計 設計
17 葉の内 5	

簡易壁面材正面展開図

S=1:100



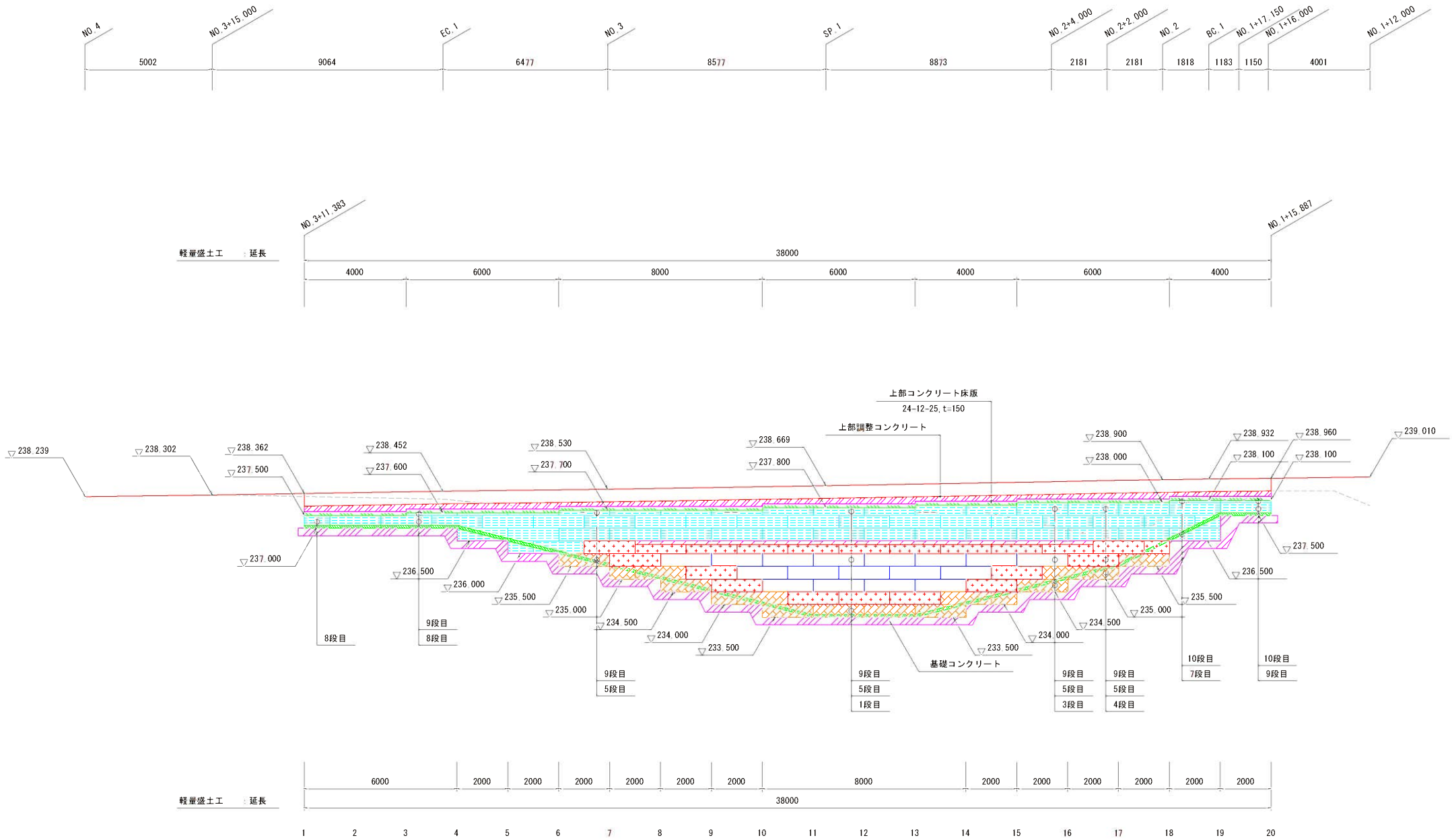
特記事項  
・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土工材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

1号軽量盛土工			
年度	令和 3 年度		
番号	災 号		
工事名	市道神定角谷線道路改良工事		
通川番号	市道神定角谷線		
施工箇所	雲南市三刀屋町重坊地内		
図面名称	簡易壁面材正面展開図		
縮尺	図示		
設計者	会社及び責任者		
測量	主任	技師	技師
設計	主任	技師	技師
17 葉の内 6			



E P S 正 面 展 開 図

S=1:100



最上部のEPSは、積層@100mmピッチの階段施工とする。

- D-20 (EPS控長 1500mm 以上に使用)
- DX-24 (標準で、t=350mm部に使用)  
(EPS控長 1250mm に使用)
- DX-24H (EPS控長 750mm~1000mm に使用)
- DX-29 (上部床版面下より最低 1200mm に使用)

特記事項  
・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土工材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

1号軽量盛土工	
年度	令和 3 年度
番号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
通川番号	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	E P S 正 面 展 開 図
縮尺	縮尺 図示
設計者	会社及び責任者
測量	主任 測量 図章
設計	主任 設計 図章

S=1:100



DL=235,000

- ・本軽量盛土工（EPS工法）は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR（舗装構成）を変更する場合は、軽量盛土材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

年度	令和 3 年度	
番号	災 号	
工事名	市道神定角谷線道路改良工事	
道川港名	市道神定角谷線	
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内	
図案名称	コンクリート版床正面展開図	
項目	縮尺 図示	
委託者	会社及び責任者	
測量 調査	量・計 測者 房 彦	検査
設計	管 理 設計者	指 査 設計者

17 葉の内 8

E P S 配 列 図 (1)

S=1:100

2段目

DX-24

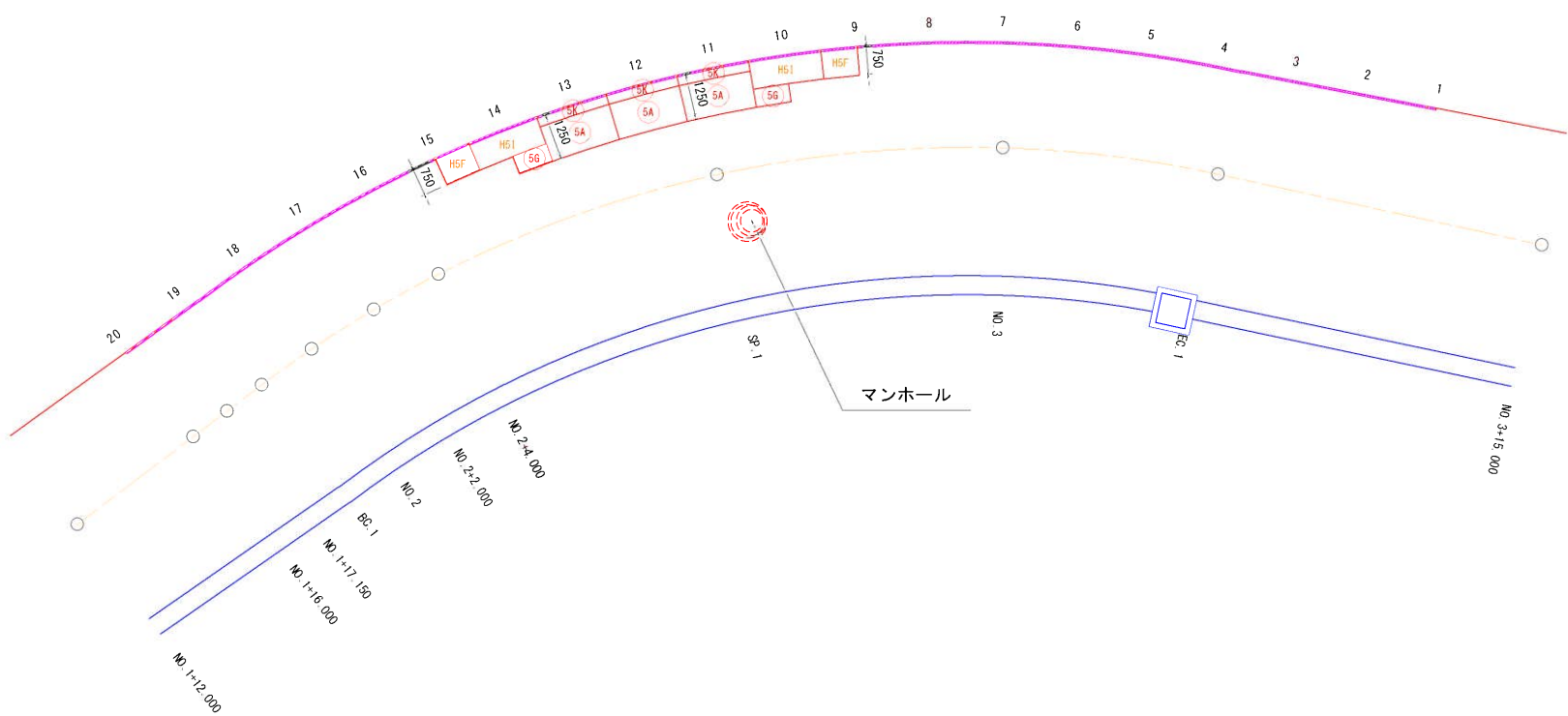
記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5A	3	3.000
5G	2	0.500
5K	3	0.750
合計		4.250

※ ○印は、DX-24 を示す。

DX-24H

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5F	2	0.750
5I	2	1.500
合計		2.250

※ H印は、DX-24H を示す。

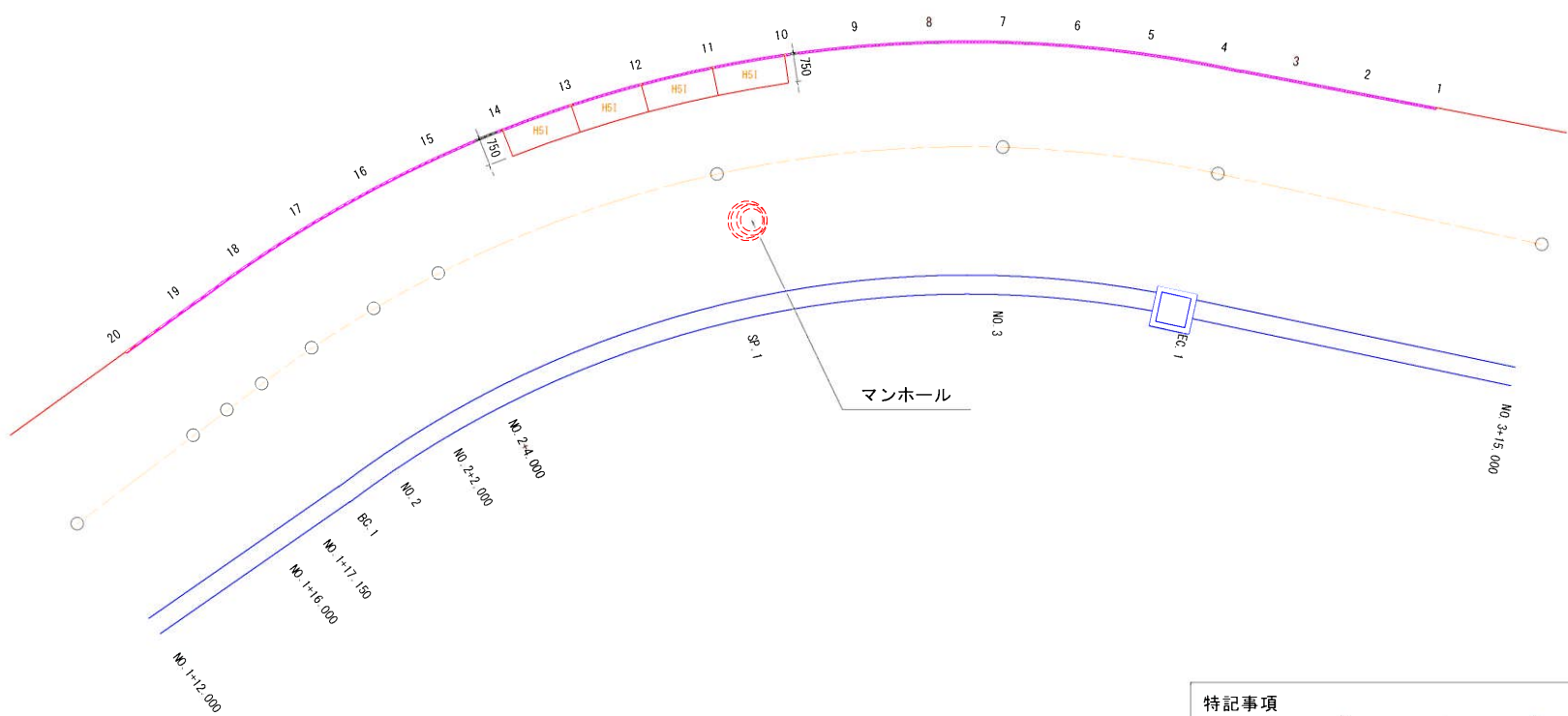


1段目

DX-24H

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5I	4	3.000
合計		3.000

※ H印は、DX-24H を示す。



特記事項

- ・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土工材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

1号軽量盛土工

年 度	令和 3 年度
番 号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
通川港名	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	E P S 配 列 図 (1)
縮 尺	図示
設計者	会社及び責任者
測 量 調 査	主任 技師 技師 技師
設 計	主任 技師 技師 技師
17 葉の内 9	

E P S 配 列 図 (2)

S=1:100

4段目

D-20

記号	個数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
A	8	8.000
G	4	1.000
I	2	1.500
K	3	0.750
合計		11.250

DX-24

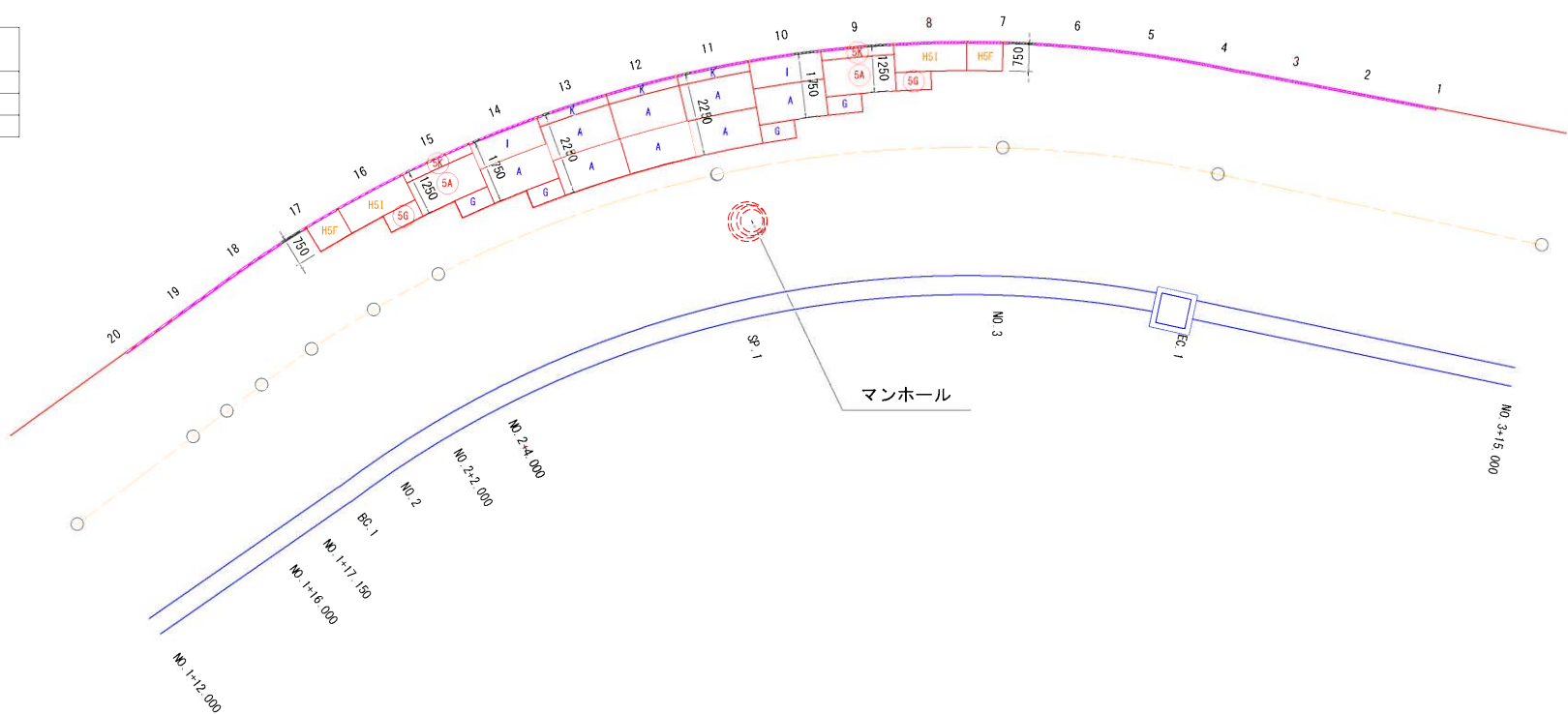
記号	個数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
SA	2	2.000
SG	2	0.500
SK	2	0.500
合計		3.000

※ ○印は、DX-24 を示す。

DX-24H

記号	個数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
SH	2	0.750
SI	2	1.500
合計		2.250

※ H印は、DX-24H を示す。



3段目

D-20

記号	個数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
A	4	4.000
I	4	3.000
合計		7.000

DX-24

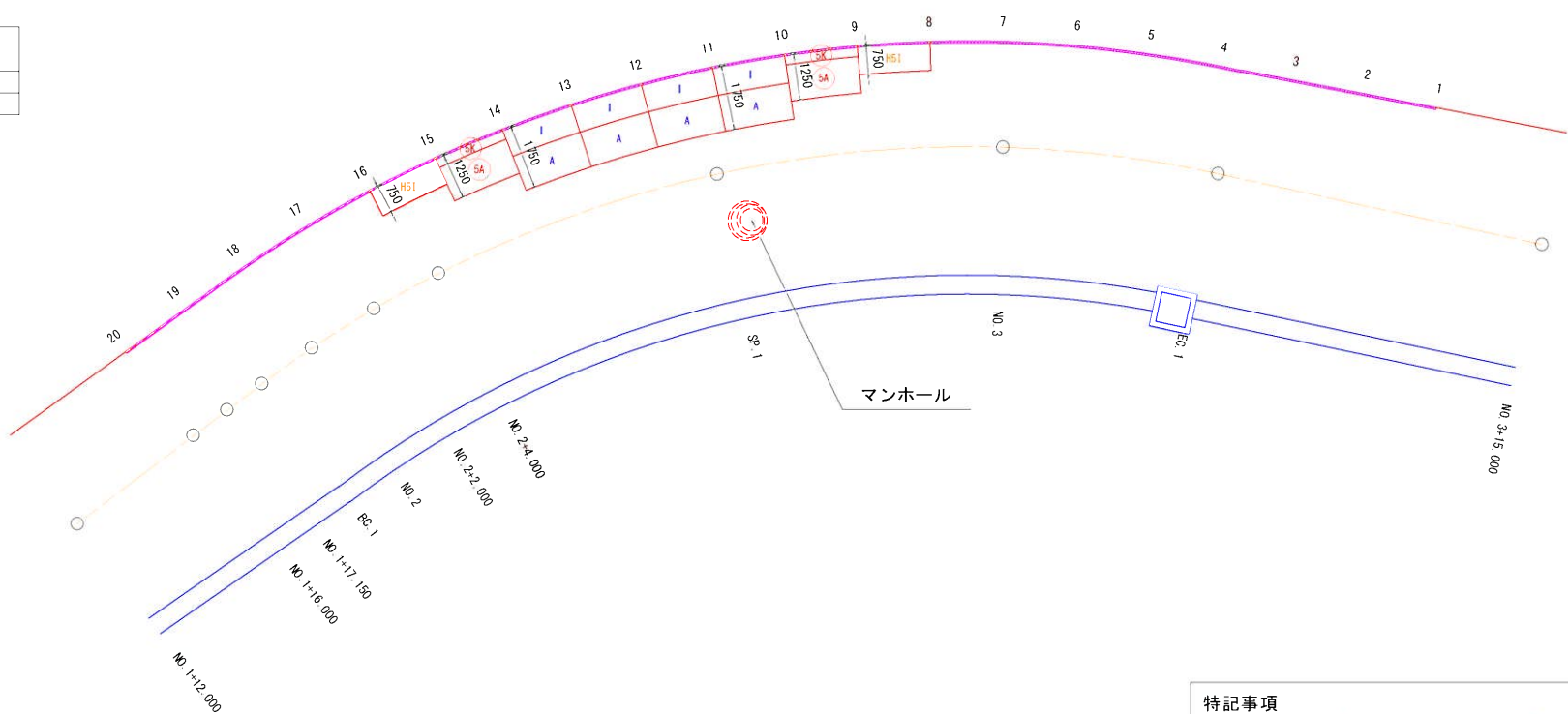
記号	個数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
SA	2	2.000
SK	2	0.500
合計		2.500

※ ○印は、DX-24 を示す。

DX-24H

記号	個数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
SI	2	1.500
合計		1.500

※ H印は、DX-24H を示す。



特記事項  
・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土工材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

1号軽量盛土工

年度	令和 3 年度
番号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
過川港名	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	E P S 配 列 図 (2)
縮 尺	図 示
設計者	会社及び責任者
測量 調査	主任 技師 氏名 印鑑
設計	主任 技師 氏名 印鑑



E P S 配 列 図 (3)

S=1:100

6段目

D-20

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
G	2	0.500
合計		0.500

DX-24

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5A	2	2.000
3.5A	10	7.000
5D	1	0.625
3.5F	4	1.052
3.5G	6	1.050
5K	2	0.500
3.5K	5	0.875
合計		13.102

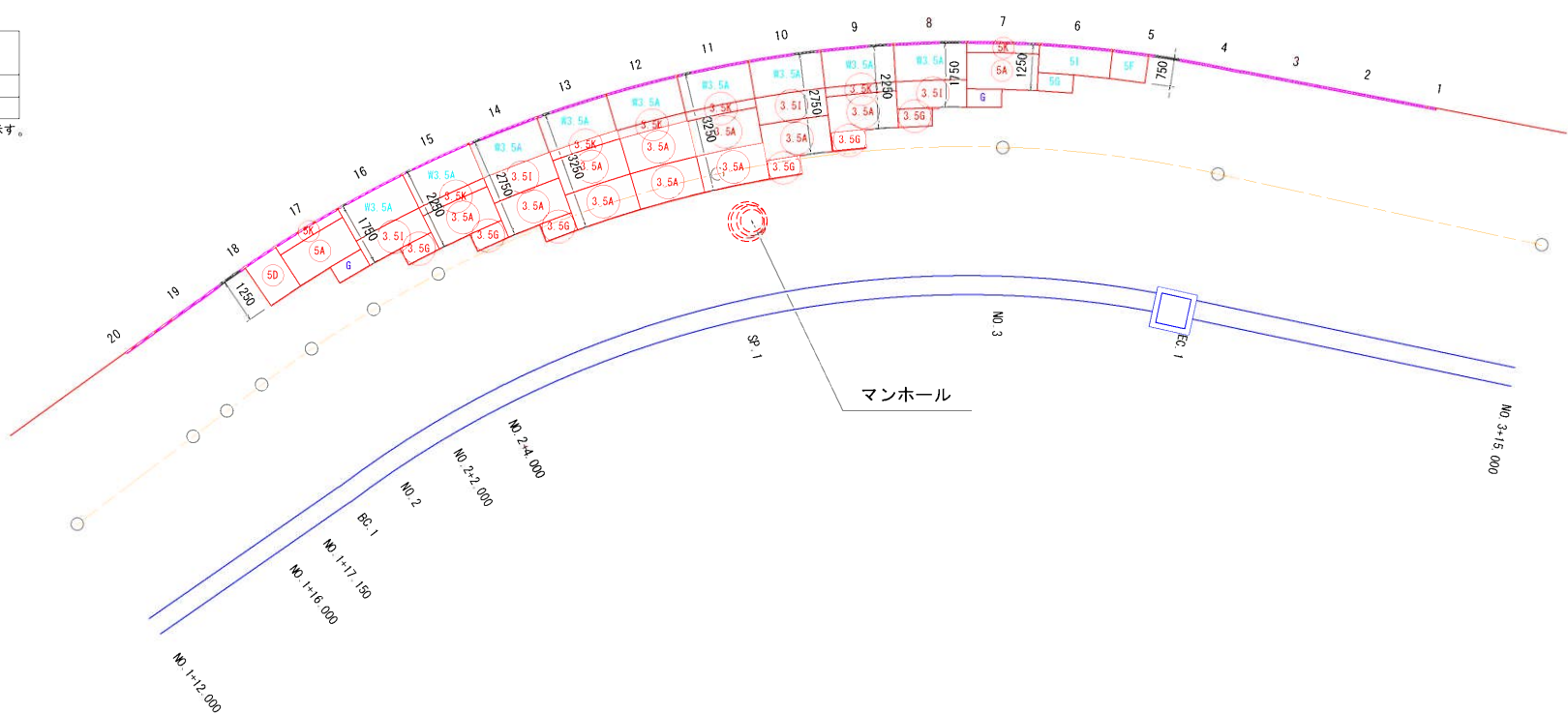
仮固定用ﾌﾞﾛｯｸ (DX-29)

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
3.5A	9	6.300
合計		6.300

※ W印は、仮固定用ﾌﾞﾛｯｸ を示す。

DX-29

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5F	1	0.375
5G	1	0.250
5I	1	0.750
合計		1.375



5段目

D-20

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
A	14	14.000
I	6	4.500
K	2	0.500
合計		19.000

DX-24

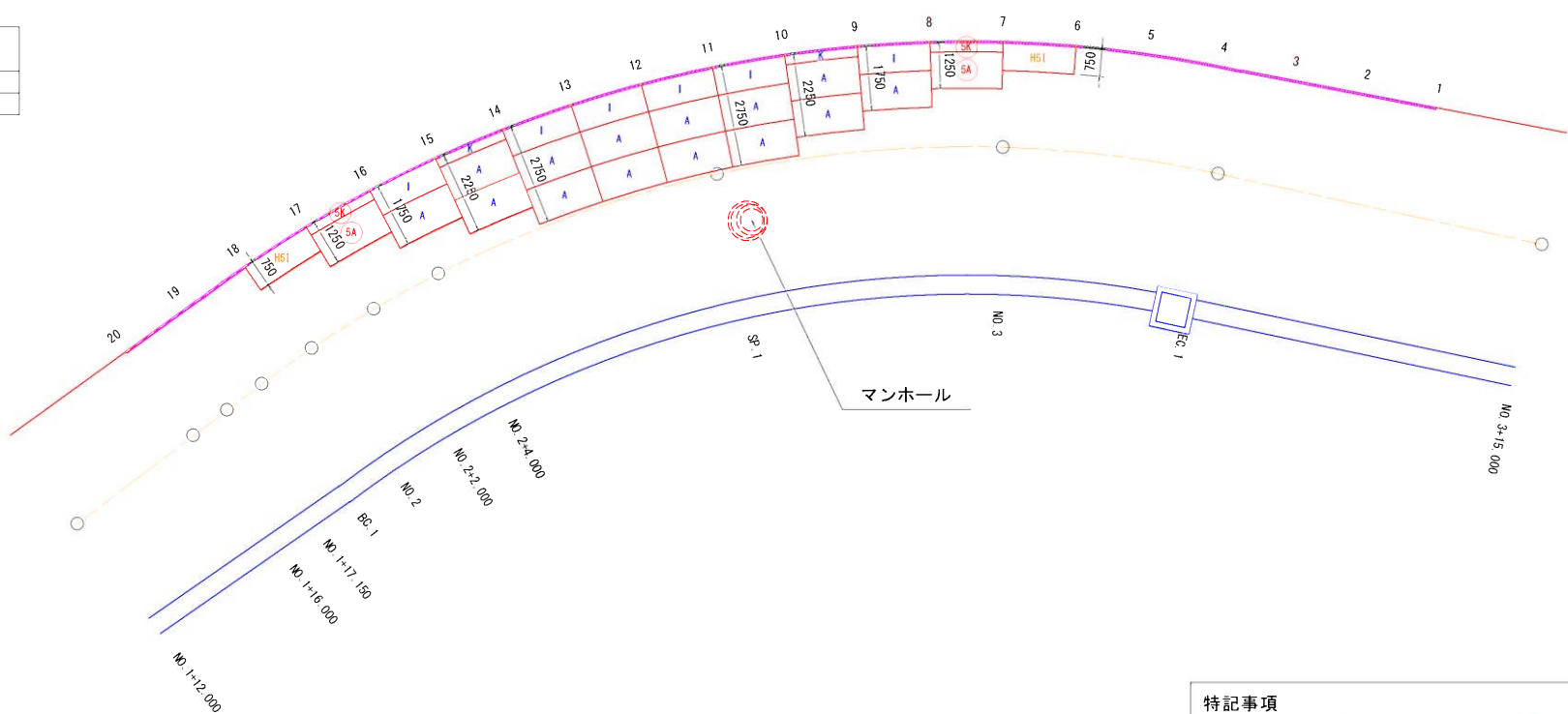
記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5A	2	2.000
5K	2	0.500
合計		2.500

DX-24H

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5I	2	1.500
合計		1.500

※ H印は、DX-24H を示す。

※ ○印は、DX-24 を示す。



特記事項  
・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土工材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

1号軽量盛土工

年 度	令和 3 年度
番 号	災 号
工事名	市道禅定角谷線道路改良工事
通川番号	市道禅定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	E P S 配 列 図 (3)
縮 尺	図示
設計者	会社及び責任者
測 量 図 査	主任 技師 技師 技師
設 計	主任 技師 技師 技師
17 葉の内 11	

E P S 配 列 図 (4)

S=1:100

8段目

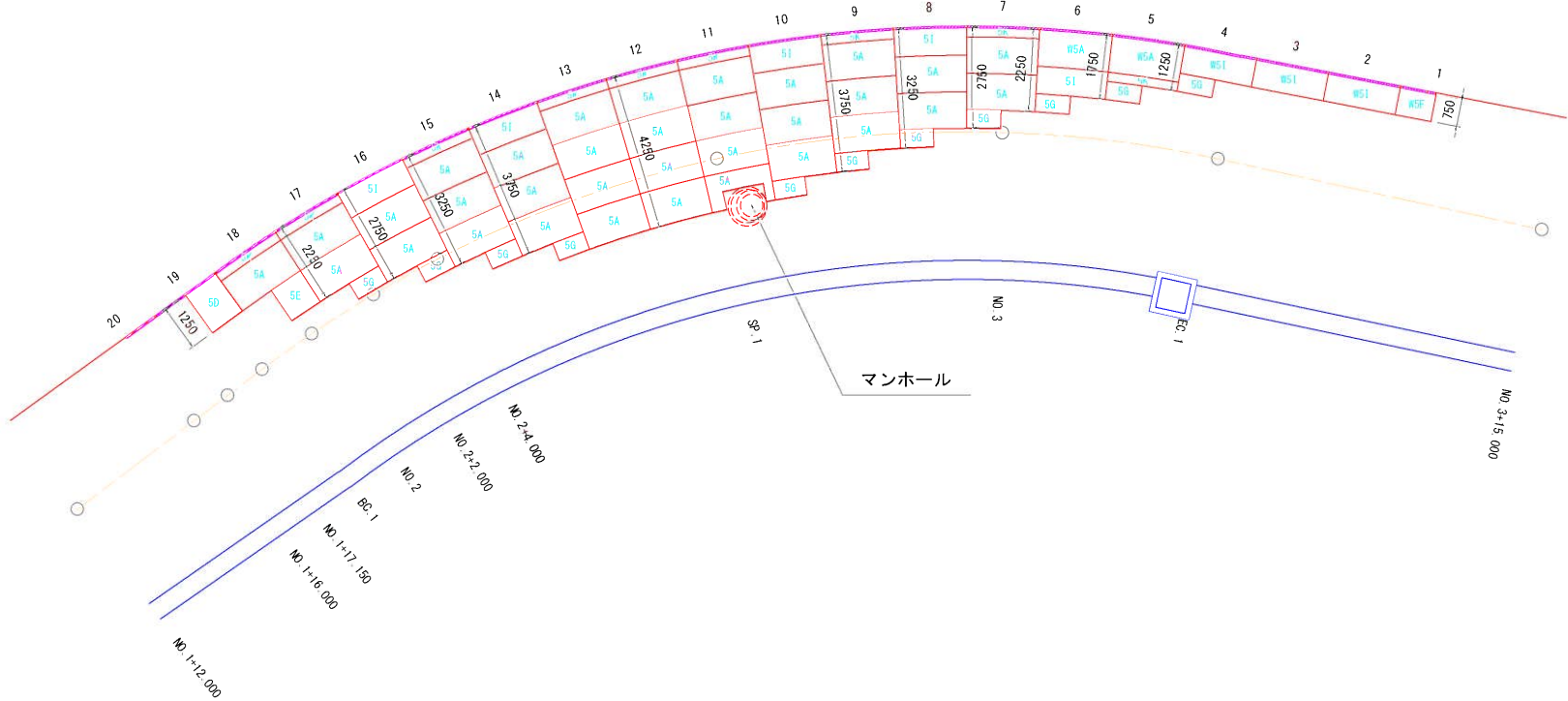
DX-29

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5A	33	33.000
5D	1	0.625
5E	1	0.500
5G	11	2.750
5I	5	3.750
5K	9	2.250
合計		42.875

仮固定用ﾌﾞﾛｯｸ (DX-29)

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5A	2	2.000
5F	1	0.375
5I	3	2.250
合計		4.625

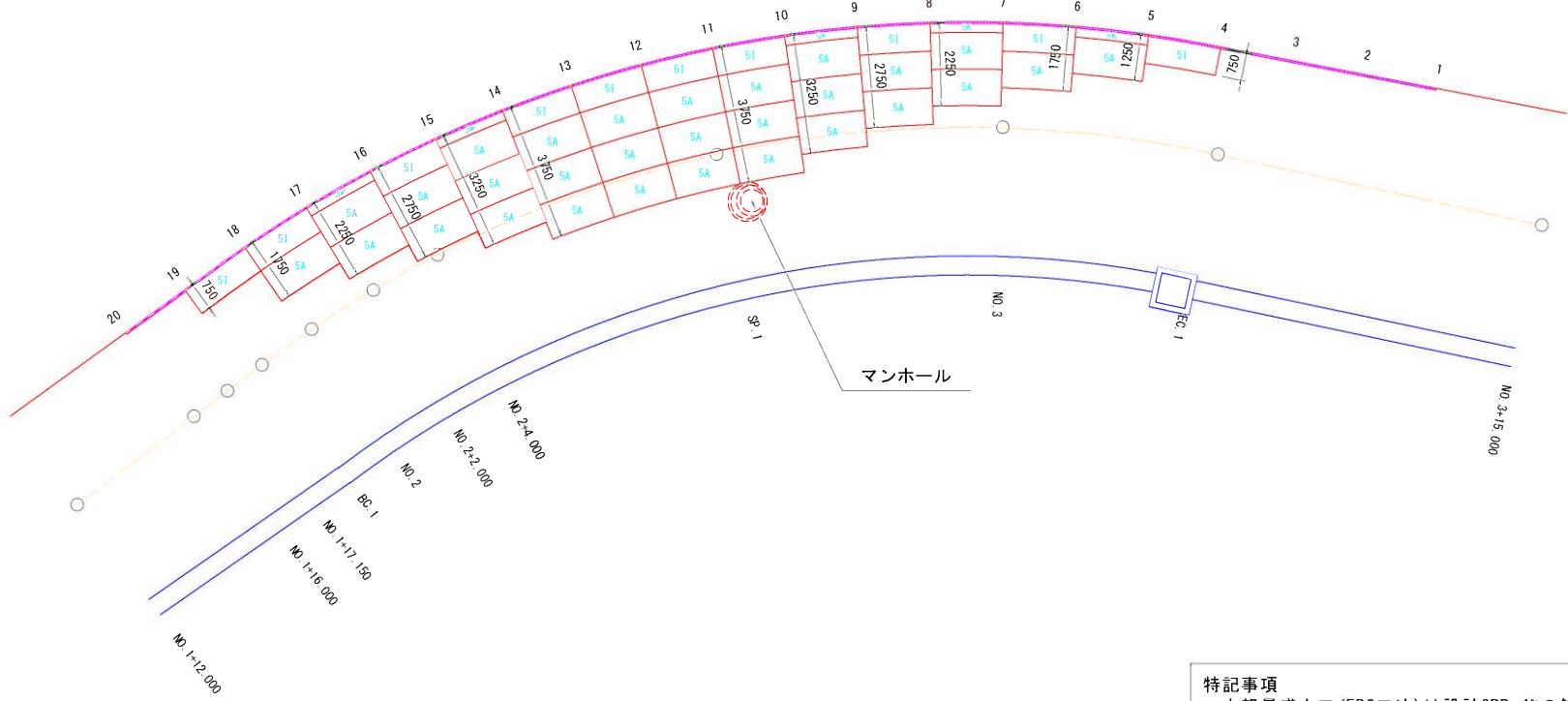
※ W印は、仮固定用ﾌﾞﾛｯｸ を示す。



7段目

DX-29

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5A	29	29.000
5I	10	7.500
5K	5	1.250
合計		37.750



特記事項  
・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土工材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

1号軽量盛土工

年 度	令 和 3 年 度
番 号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
通川港名	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	E P S 配 列 図 (4)
縮 尺	図 示
測 量 調 査	測 量 者 調 査 者
設 計	設 計 者 校 正 者
17 葉の内 12	

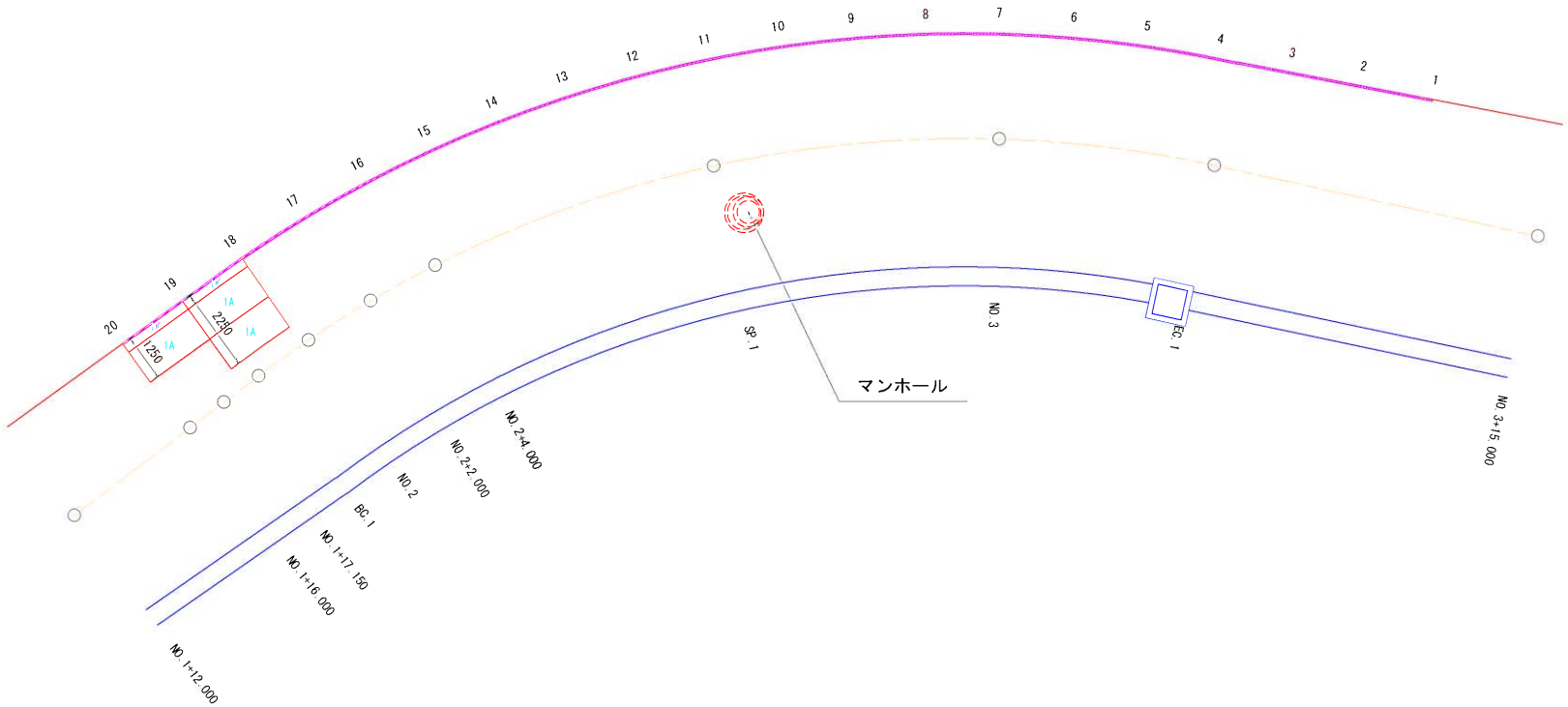
E P S 配 列 図 (5)

S=1:100

10段目

DX-29

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
1A	3	0.600
1B	2	0.100
合計		0.700



9段目

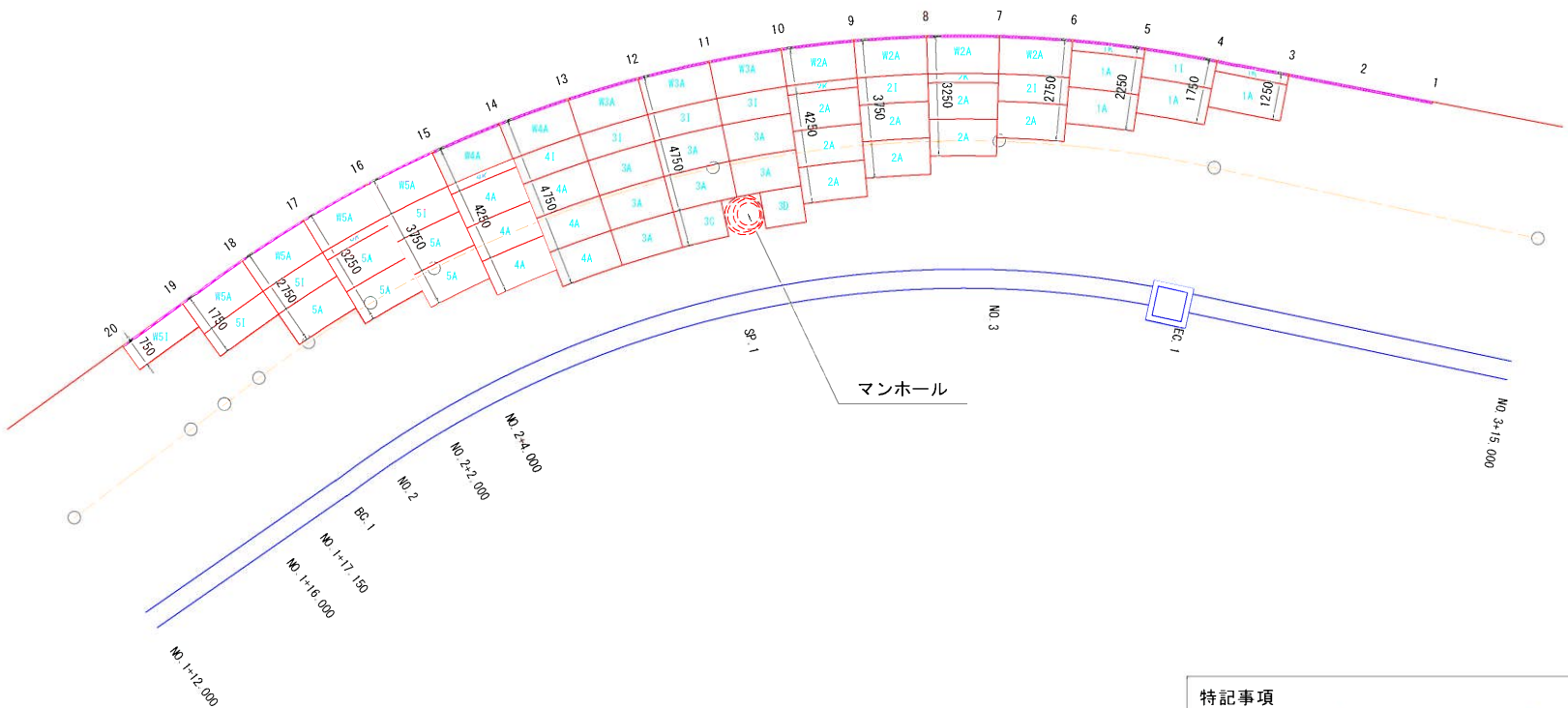
DX-29

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5A	5	5.000
4A	6	4.800
3A	7	4.200
2A	8	3.200
1A	4	0.800
3C	1	0.450
3D	1	0.375
5I	3	2.250
4I	1	0.600
3I	3	1.350
2I	2	0.600
1I	1	0.150
5K	1	0.250
4K	1	0.200
2K	2	0.200
1K	2	0.100
合計		24.525

仮固定用ﾌﾞﾛｯｸ (DX-29)

記号	個 数 (個)	立 積 (m <sup>3</sup> )
5A	4	4.000
4A	2	1.600
3A	3	1.800
2A	4	1.600
5I	1	0.750
合計		9.750

※ W印は、仮固定用ﾌﾞﾛｯｸ を示す。



特記事項  
・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土工材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。



1号軽量盛土工

年 度	令和 3 年度
番 号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
通川港名	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	E P S 配 列 図 (5)
縮 尺	図示
設計者	会社及び責任者
測 量 図 査	主任技師 技師 技師
設 計	技師 技師 技師
17 葉の内 13	

コンクリート床版平面図

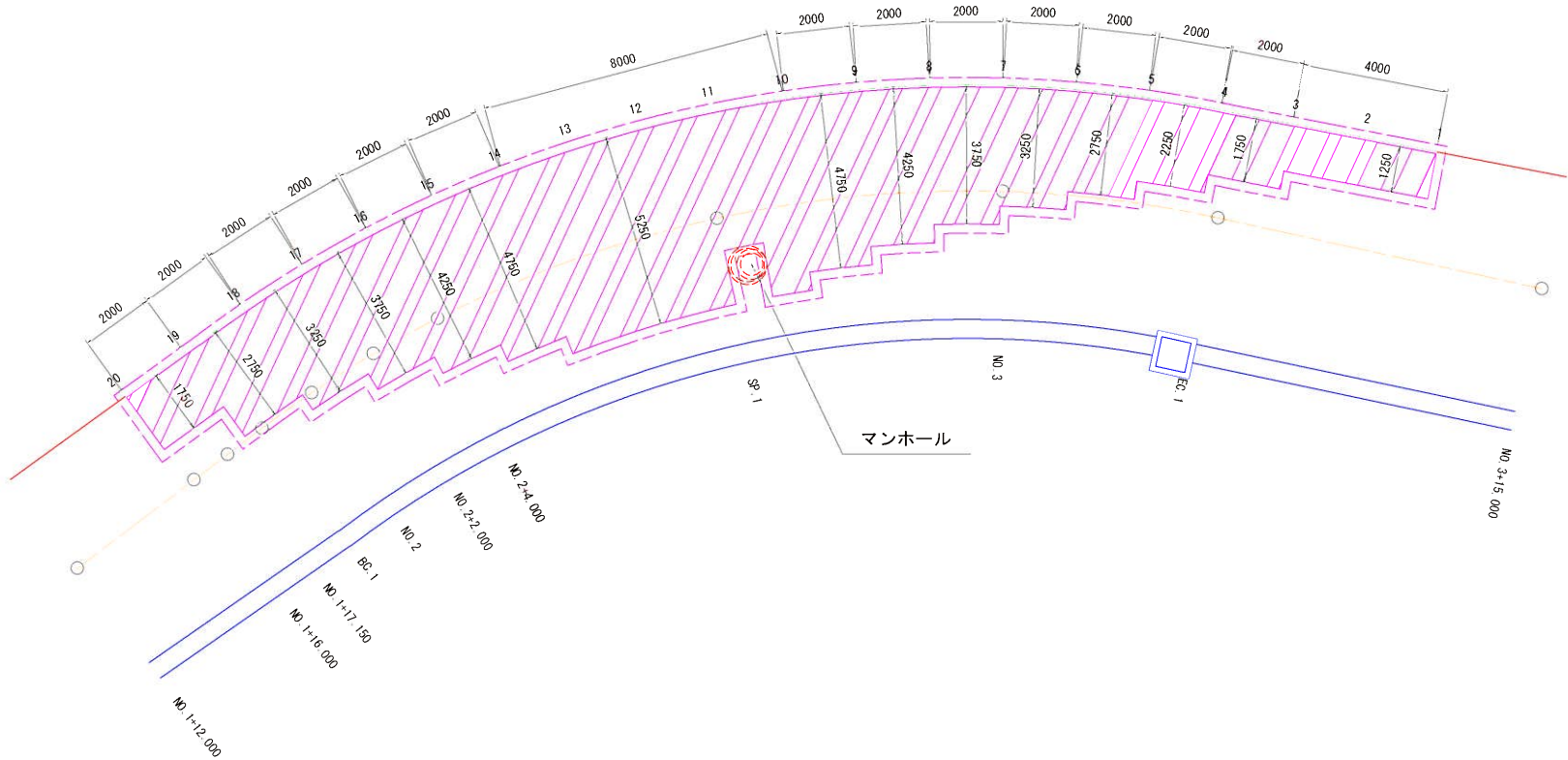
S=1:100

上部コンクリート床版



	床版面積	124.47	m <sup>2</sup>
	床版型枠長	86.11	m
	床版厚	0.150	m

数量表：上部コンクリート床版 (1式当たり)

名 称	規 格	算 式	単 位	数 量
コンクリート	24-12-25	床版面積×床版厚	m <sup>3</sup>	18.671
型 枠		型枠長×床版厚	m <sup>2</sup>	12.917
溶接金網	φ6-150X150	床版面積	m <sup>2</sup>	124.470

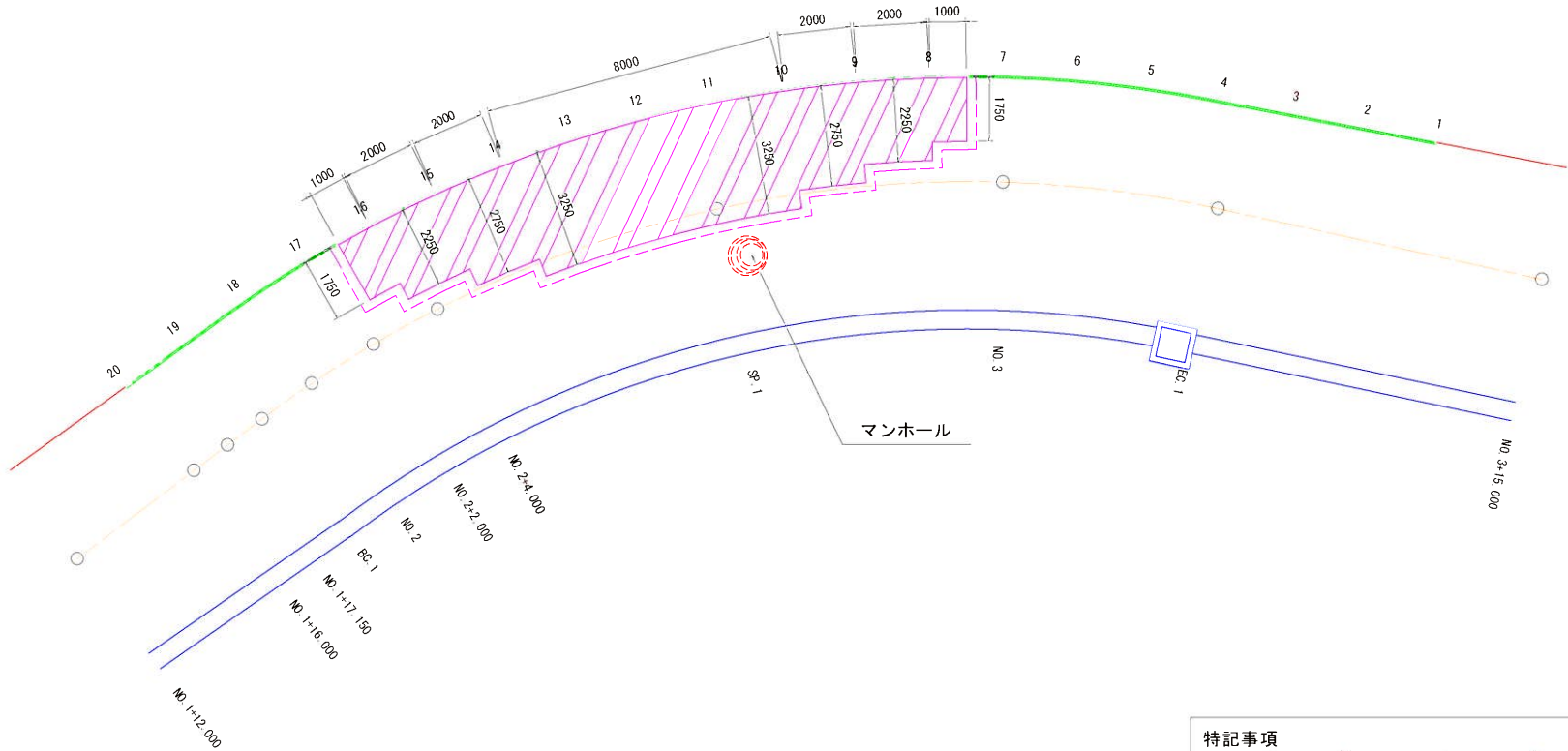


中間コンクリート床版

	床版面積	47.44	m <sup>2</sup>
	床版型枠長	23.06	m
	床版厚	0.150	m

数量表：中間コンクリート床版 (1式当たり)

名 称	規 格	算 式	単 位	数 量
コンクリート	18-12-25	床版面積×床版厚	m <sup>3</sup>	7.116
型 枠		型枠長×床版厚	m <sup>2</sup>	3.459
溶接金網	φ6-150X150	床版面積	m <sup>2</sup>	47.440



特記事項  
・本軽量盛土工 (EPS工法) は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR (舗装構成) を変更する場合は、軽量盛土工材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

年度	令和 3 年度
番号	災 号
工事名	市道神足角谷線道路改良工事
通川港名	市道神足角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	コンクリート床版平面図
縮 尺	図示
設計者	会社及び責任者
測量	主任 測量 測量
設計	主任 設計 設計
17 葉の内 14	

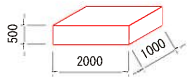


ブロック形状図

S=1:100

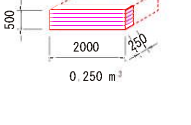
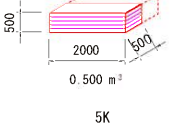
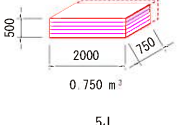
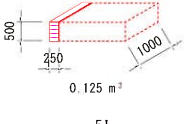
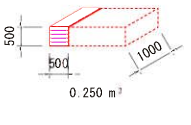
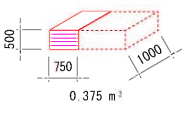
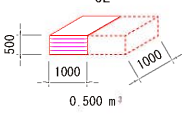
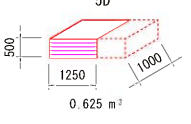
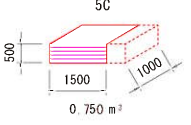
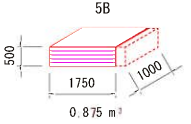
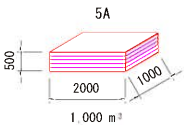
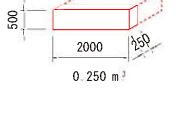
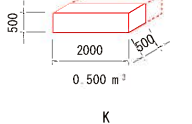
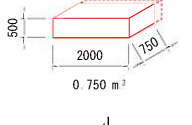
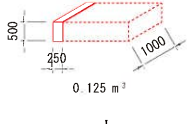
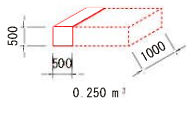
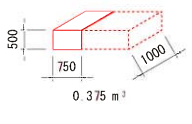
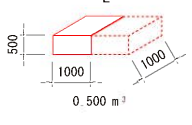
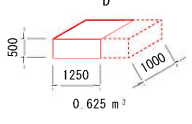
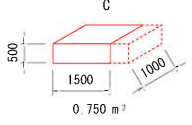
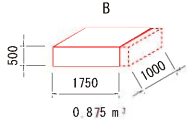
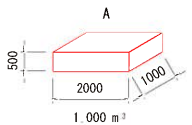
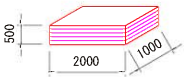
ブロック標準寸法

Dタイプ  
(型内発泡)



ブロック標準寸法

D×タイプ  
(押出发泡)



※ 記号の数字は、積み段数を示す。

(例：5A = DX-29、「A」×「7」×「t=100」 5段積み)

※ ○印は、DX-24を示す。

(例：5A = DX-24、「A」×「7」×「t=100」 5段積み)

※ H印は、DX-24Hを示す。

(例：H5A = DX-24H、「A」×「7」×「t=100」 5段積み)

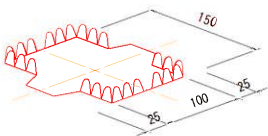
※ W印は、仮固定用ブロック(DX-29)を示す。

(例：W5A = 仮固定用ブロック(DX-29)、「A」×「7」×「t=100」 5段積み)

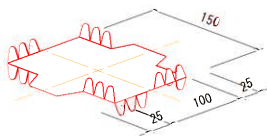
緊結金具詳細図

S=1:5

片爪型



両爪型



緊 結 金 具 (SGLC-AZ150)	片 爪 型	発泡スチロール土木工法
	両 爪 型	開発機構認定金具とする。

D-20

記号	個数 (個)	立 積 (m³)
A	26	26.000
G	6	1.500
I	12	9.000
K	5	1.250
合計		37.750

DX-29

記号	個数 (個)	立 積 (m³)
5A	67	67.000
4A	6	4.800
3A	7	4.200
2A	8	3.200
1A	7	1.400
3C	1	0.450
5D	1	0.625
3D	1	0.375
5E	1	0.500
5F	1	0.375
5G	12	3.000
5I	19	14.250
4I	1	0.600
3I	3	1.350
2I	2	0.600
1I	1	0.150
5K	15	3.750
4K	1	0.200
2K	2	0.200
1K	4	0.200
合計		107.225

DX-24

記号	個数 (個)	立 積 (m³)
5A	11	11.000
3.5A	10	7.000
5D	1	0.625
5G	4	1.000
3.5G	6	1.050
3.5I	4	2.100
5K	11	2.750
3.5K	5	0.875
合計		26.400

※ ○印は、DX-24 を示す。

DX-24H

記号	個数 (個)	立 積 (m³)
5F	4	1.500
5I	12	9.000
合計		10.500

※ H印は、DX-24H を示す。

仮固定用ブロック(DX-29)

記号	個数 (個)	立 積 (m³)
5A	6	6.000
4A	2	1.600
3.5A	9	6.300
3A	3	1.800
2A	4	1.600
5F	1	0.375
5I	4	3.000
合計		20.675

※ W印は、仮固定用ブロックを示す。

E P S 総体積

D-20	(盛土材)	37.750 m³
DX-24	(盛土材)	26.400 m³
DX-24H	(盛土材)	10.500 m³
DX-29	(盛土材)	107.225 m³
DX-29	(仮固定)	20.675 m³
		202.550 m³

特記事項

・本軽量盛土工(EPS工法)は設計CBR=4%の舗装構成により計画している。  
施工時に設計CBR(舗装構成)を変更する場合は、軽量盛土材の配置に  
変更を生じる可能性があるので再度設計計算を行い配置を確認すること。

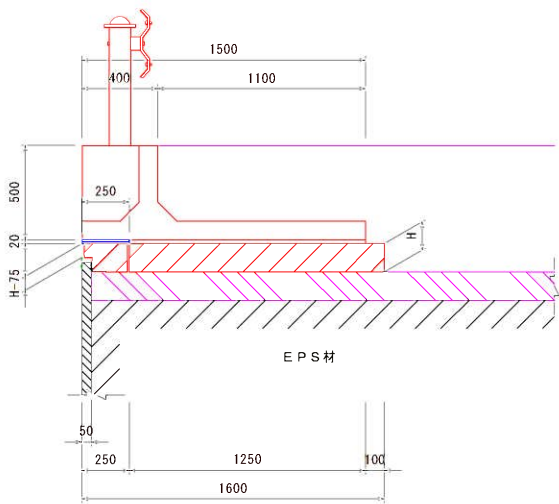
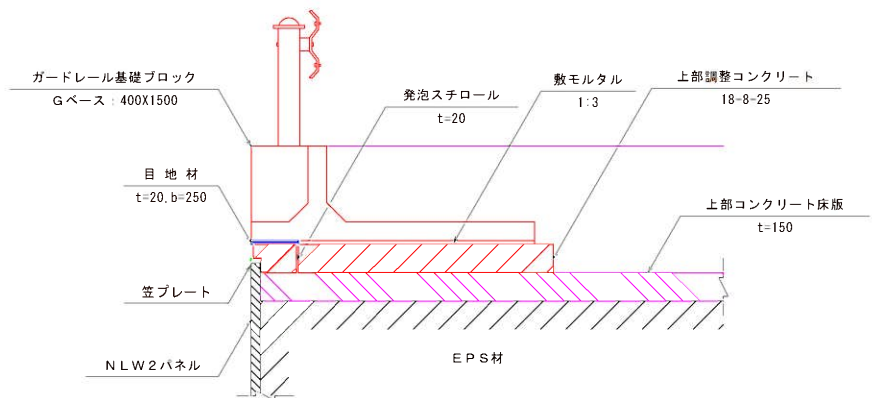
1号軽量盛土工

年度	令和 3 年度	
番号	災 号	
工事名	市道神定角谷線道路改良工事	
通川港名	市道神定角谷線	
施工箇所	雲南市三刀屋町重坊地内	
図面名称	ブロック形状図	
縮尺	図示	
調査	主任技師	技師
設計	技師	技師
17 葉の内 15		



ガードレール基礎詳細図

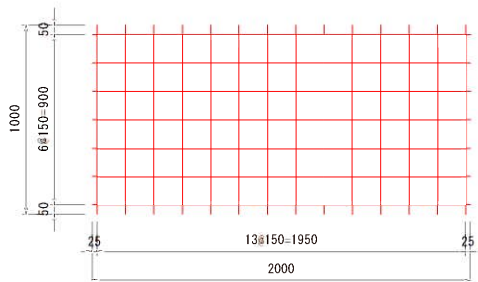
S=1:20



コンクリート床版配筋図

S=1:20

平面図



- ※1、使用鉄筋：φ6
- ※2、寸法の端数は標準金網をカットする
- ※3、鉄筋の重ね代は1網目(150mm)以上とする

断面図

(上部床版)



※上部コンクリート床版の設計基準強度  $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$

断面図

(中間床版)

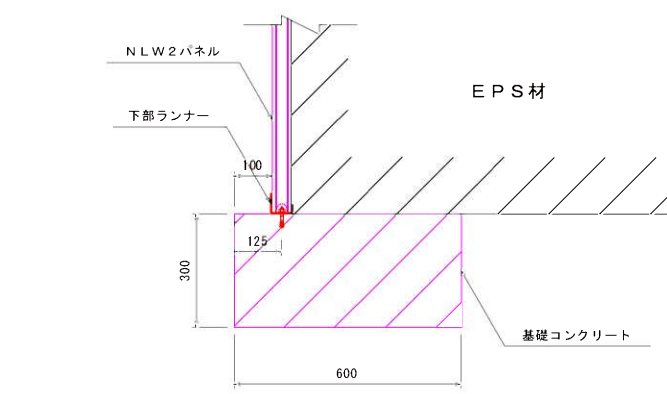
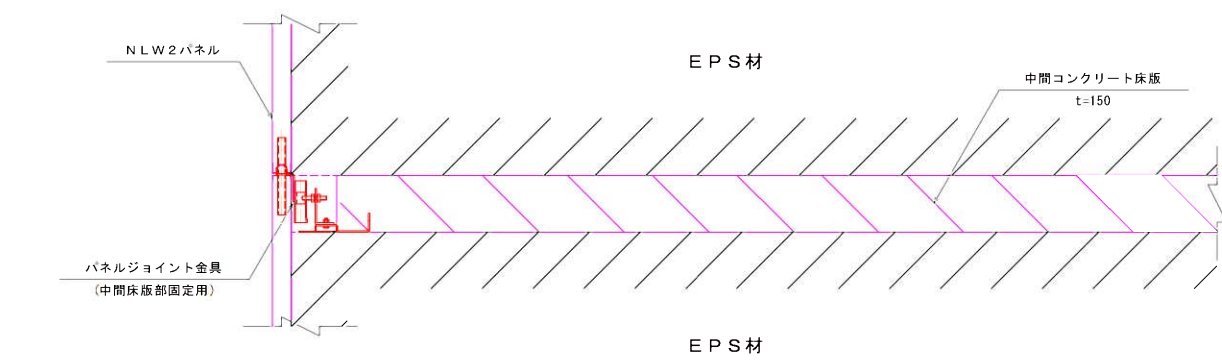
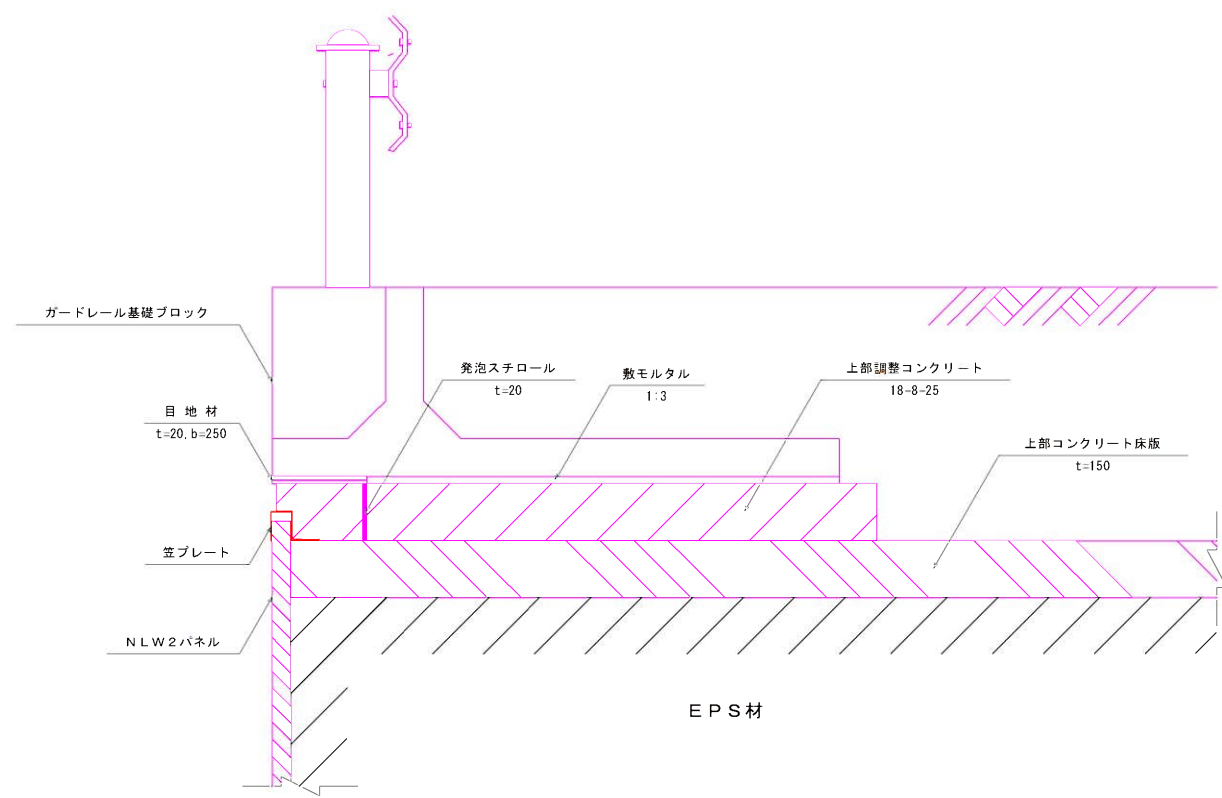


※中間コンクリート床版の設計基準強度  $\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$

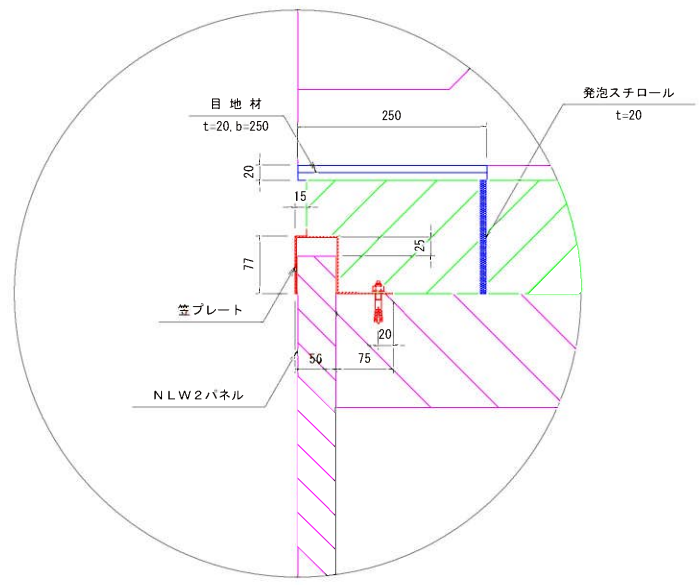
1号軽量盛土工

年度	令和 3 年度
番 号	災 号
工事名	市道神定角谷線道路改良工事
道川番号	市道神定角谷線
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内
図面名称	ガードレール基礎詳細図 コンクリート床版配筋図
縮 尺	図示
設計者	会社及び責任者
測 量	主任 測量 測量 測量 測量 測量
設 計	主任 設計 設計 設計 設計 設計

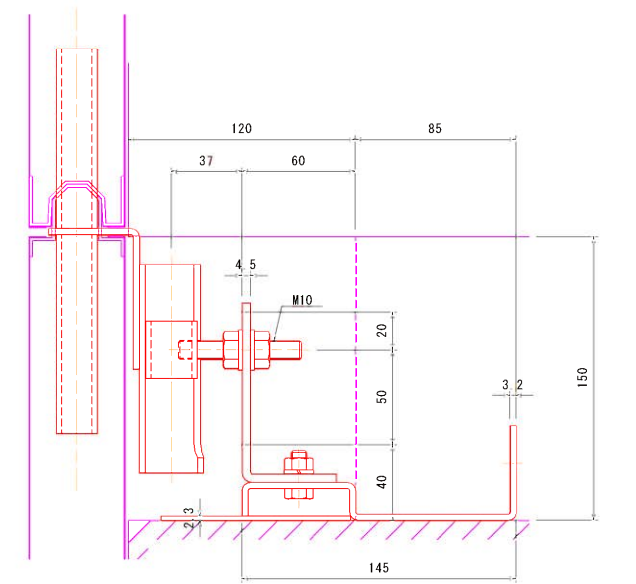
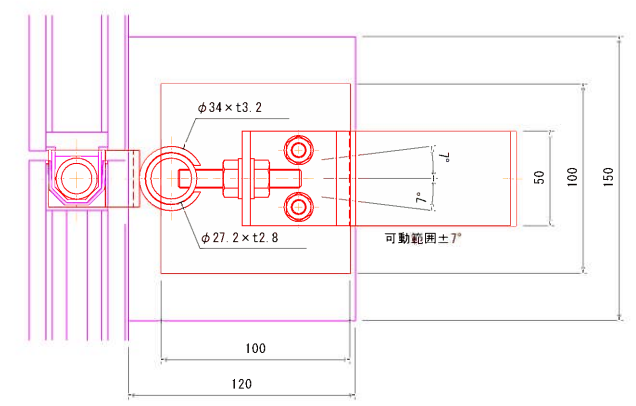
簡易壁面材詳細図 S=1:10



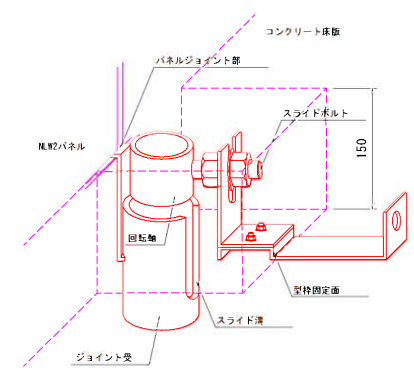
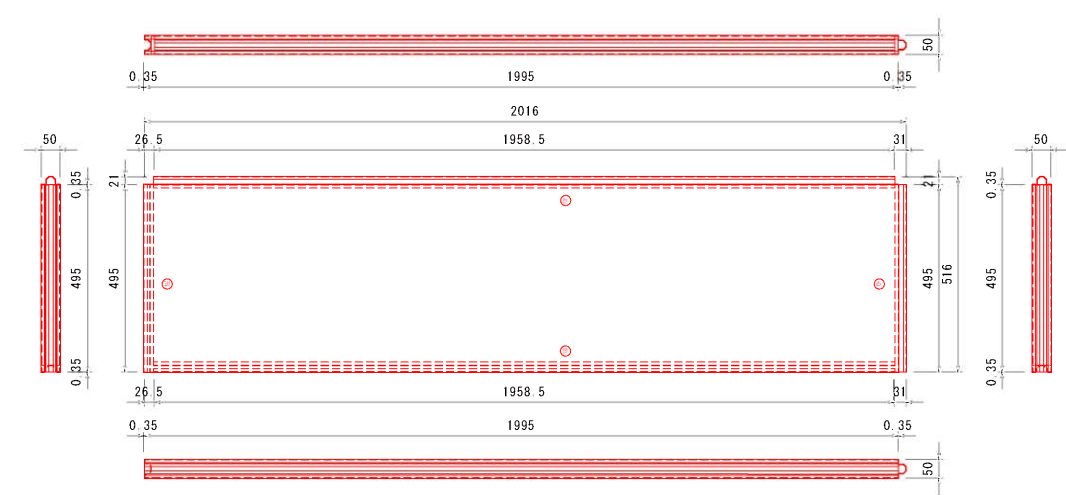
笠プレート部詳細図 S=1:5



パネルジョイント金具詳細図 S=1:2



N L W 2 パネル標準図 S=1:10



1号軽量盛土工			
年度	令和 3 年度	年度	
番号	災 号	番号	
工事名	市道神定角谷線道路改良工事		
通川港名	市道神定角谷線		
施工箇所	雲南市三刀屋町里坊地内		
図面名称	簡易壁面材詳細図		
縮尺	図示		
調査	会社及び責任者		
設計	責任者	担当者	担当者
17 葉の内 17			